

## 第19回 奈良県営競輪あり方検討委員会 議事概要

1. 開催日時：令和2年2月18日（火）14:00～16:00

2. 開催場所：奈良県営競輪場 飛天交流館 2階

3. 出席者

【出席委員（委員長を除き五十音順 敬称略）】

粕井 憲 委員長（南都経済研究所 元理事長）

石黒 良彦 委員（奈良県弁護士会 会長）

上垣 憲一 委員（奈良サイクリング協会 理事長）

松岡 宏高 委員（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）

※佐野智世委員（戦略マーケティング研究所ケイ・ファクトリー 代表）は所用のため  
欠席

【事務局】産業・雇用振興部 中川部長 大西次長

地域産業課 山田課長 山崎課長補佐 苅阪地域産業振興係長 鈴木主任主査  
競輪場 森本場長 南次長 平野総務企画係長

4. 公開・非公開の別

公開

5. 議事

【開会の挨拶】中川部長

【議 題】

○議題1 「奈良県営競輪の経営状況について」

事務局より説明

・委員意見

<松岡委員>

・資料説明の中で一節あたりの（車券の）売上がどのカテゴリーでも増えているが、これは購入者が増えたのか、または客単価が増えたのか。

（事務局）

・競輪場内で（車券を）買うお客様は全国的にも減っているが、電話投票（以下、「電投」という。）での購入者が増えており、（購入者の）パイが全国的に広がったのが売上増の要因と考える。

<上垣委員>

- ・ナイターやミッドナイトレースが好評で、電投での購入者が増えているということは、極論を言えば今後観客席はいらないのではないかと。
- ・多額の経費を費やして、あまり競輪場に来ないお客様のために観客席を確保することは必要だろうか。特に市場ニーズから電投購入が今後増えてくるだろうし、新型コロナ問題で一カ所にお客様を集中させるリスクも懸念される。観客席に対するこれまでの考え方を見直す必要があるのではないかと思う。

<粕井委員長>

- ・過去のことを思えば、売上全体が底上げになってきたのはいい傾向。
- ・集客力を高めるために始めたナイター競輪は16時からの開催だが、この開催時間はまだ仕事の方も多いため、見直す必要があるのではないかと。

(事務局)

- ・お客様の多様化に対応するため、モーニング、通常開催、ナイター、ミッドナイトと一連となりゾーンで時間帯が繋がるように開催している。微調整は都度行っている。

<粕井委員長>

- ・GⅢ春日賞争覇戦(2/27~3/1)の開催時に耐震補強工事未了のためスタンド観客席は使用禁止となっているが、同工事を行っても何年後かには解体することを考えると人命尊重は理解できるがこの工事費用は無駄にならないか。工事は既に発注しているのか。

(事務局)

- ・現在は発注に向けての手続きを県庁内部で行っている。
- ・利用者の安全安心の確保を第一に、県庁内で耐震の検討チーム会議を行っており、競輪場も含め建物すべてについて同方針で進めている。
- ・抜本的な対策には時間もかかることから、まずは耐震補強工事を行った上で収支を含め、いつどのように行っていくかを今後定めていく。

<粕井委員長>

- ・大型のモニターの設置スペースはどこに設置しようとしているのか。

(事務局)

- ・第一投票所付近の空きスペースに設置する予定。

## ○議題2「前回までの委員会について」

### 事務局より説明

#### 委員意見

##### < 粕井委員長 >

- ・前回までの意見がよく網羅されていて、次の展開をどうしていくかはまさしくこの3点だろうと思う。他の委員からご意見があれば。

##### < 上垣委員 >

- ・来場者の利便性向上など競輪場集客アップに努め一層の経営の安定を図るとの部分、これが本当に必要なのか。
- ・高齢化社会、インターネット社会になり情勢が変わりつつある中、わざわざ一か所に集めて楽しんでもいただくのが時代のニーズに合っているのかどうかを精査した方がよいのではないか。

##### < 粕井委員長 >

- ・スポーツ施設の機能にとどまらず、複合的な機能をつけて回転率を上げる。言い換えれば「規模の経済」から「範囲の経済」に転換することで収益率を高める。つまり単なる競輪場ではなく多角的な視点からこの施設を捉え、ご提案の観点も踏まえてこれからこの委員会で具体的に肉付けしていけばどうか。
- ・過去からシンクタンクに入ってもらい、例えばこの広大な敷地内にアウトレットを入れてその集客力と並行して競輪場運営を検討していた経緯もあり、今後引き続き本委員会にてご提案内容含め検討していきたい。

##### < 松岡委員 >

- ・この施設がどういう役割を地域で果たすか、という内容をまずは押さえて打ち出すことが必要。
- ・スポーツもネットで離れたところで集まらなくてもできるサービスがあるが、この施設では例えば選手が実際に目の前で走っているところを見ることが体験を得る場作りを目指す等、施設の役割や方針を明確に打ち出す必要があるのではないか。

#### (事務局)

- ・議題3で資料等準備しており、引き続きこれらの議論をお願いする。

○議題3 「令和2年度以降の競輪事業について」

事務局より説明

委員意見

< 鮎井委員長 >

- ・本議題は項目が5つに分かれているので一つ一つ審議をお願いします。
- ・まずは資料P.4の令和2年度以降の競輪事業について1、についてご意見ををお願いします。

< 上垣委員 >

- ・令和2年度の施設整備の概算費用は出ているか。

(事務局)

- ・事前配付資料の最終ページに記載通り予算は組んでいる。  
2月20日の記者発表後に正式に公表する。

< 鮎井委員長 >

- ・令和4年度の計画で、奈良競輪運用状況を検証する委員会設置とあるが、これは具体的にどう考えているのか。

(事務局)

- ・これまでの「あり方委員会」から「経営管理委員会」のような形で、連続性を確保しつつ運営について引き続きご意見をいただくようにする。

< 松岡委員 >

- ・令和21年度までの収支シミュレーションは提示されるのか。

(事務局)

- ・提示する。

< 鮎井委員長 >

- ・続いて資料P.5の令和2年度以降の競輪事業について2の  
①老朽化した施設への対応についてご意見ををお願いします。
- ・現在は敷地が広いためにいろいろな建物が雑多な感じになっているが、これをきれいに整備して、来て楽しい競輪場になるように委員会でいろいろ意見が出たが、かなり思い切ってゾーンを整備され、よく考えられていると私自身は受け取っている。

(事務局)

- ・令和2,3年度で検討しているハード整備事業と、ソフト的なイベント関係と車券の売上に対する当面の取り組み内容についてまとめたもの。
- ・それ以降の収支や長期的に施設を多目的にどう活用するかなどについては、次の段階でご意見を伺いたい。

< 粕井委員長 >

- ・続いて②地域に親しまれる競輪場について。
- ・取組事項の中にあるサマーフェスティバルや秋篠町盆踊りなど見学し、地域への開放という意味で理解はできるが、地域に親しまれるという観点は競輪競技のファン作りという意味では少し違うのではないか。
- ・もっと中の施設を開放する、例えば有料化しても構わないので空きスペースをホテルや駐車場などへの一般開放など考えられないか。
- ・本来の競輪事業の活性化という観点からは、地域のふれあいにとどまらず拡大して考える必要があるのでは。

< 上垣委員 >

- ・40数年前はこの競輪場でB級バッチテストという競技があり、素人が目標タイムに到達したらB級バッチがいただけた。これの復活もマニア中心に今でも要望が強い。
- ・レースを見て肌で感じて一緒に走るような体験がファン作りに求められているのではないか。奈良県内の高校の自転車競技部は今でも定期的に練習で競輪場を使わせてもらえるようだが、一般の方にこのような機会を広げるのもあると思う。

< 松岡委員 >

- ・一般開放の場合、怪我が心配ではあるが登録制にして、適切な保険に入る。また決められた団体に登録して団体毎に受け入れるなどの対応が考えられる。
- ・これらの対応により競輪場も単なるギャンブル施設でなく、市民のスポーツ施設としての公共サービスの役割を持たせることができる。

< 粕井委員長 >

- ・続いて③競輪事業の継続策の検討(案)について、ご意見を願います。

< 松岡委員 >

- ・P.6の②地域に親しまれる競輪場で出されたいろいろなアイデアや、P.7の③の取組アイデアは、委託している業者からの提案なのか。つまりどこから発案されて、どこで意思決定されているのか。

(事務局)

- ・包括委託業者からの提案だけでなく、レアなケースではサマーフェスタなどは地元の学校などから広がったものもある。今のところは包括委託業者との情報交換の中で決まったものが多い。

< 鮎井委員長 >

- ・健康麻雀教室以外にも囲碁や将棋など、競輪場の設備を使って人との交流を促すことで競輪もやってみようとなる。
- ・競輪の楽しみ方のガイダンス教室や車券の購入方法などを積極的に教えることがファン作りにつながるのでは。

(事務局)

- ・日本人客に加え、インバウンドの外国人客を取り込むことができないかを考えたい。

< 鮎井委員長 >

- ・続いて「令和4年度以降の競輪場のあり方に向けた検討スケジュール」について、ご意見を伺いたい。
- ・次回には令和21年度までの競輪事業の収支見込が提示されているということで、それをベースに令和4年度以降の競輪事業について検討を行っていく。スケジュールとしてはこれでいいのではないかと。

#### ○議題4 その他

事務局より説明

以上